

船川八幡宮 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

当社は天永年間に、京都山城国男山八幡宮（石清水八幡宮）に総代を派遣し、新見村今市（現在の
新見宮地町）へ勧請し、惣社として創建されたと伝承されている。

応永17年11月7日（室町時代）社殿が炎上し、各書記、古文書、刀剣類、重宝など全て焼失し
た。

古文書によれば、応永21年3月、平信濃入道が、社殿を再建した。

伝承によると、永禄年間（室町時代後期）新見村鳶ヶ巣城主、徳光兵庫頭が、氏神として崇敬して
居たが、神夢の啓示により、備中松山（高梁市）へ舟路を開鑿し、舟揖の便を得たのを感謝して、船
川の山号を奉り、船川八幡宮と号し、濁酒献供の定めを起して、田地2反8畝歩を神領としたのが、
濁酒醸造の始まりとされている。以来、歴代の領主から代々寄進米を受け、この伝統行事は継承され
てきた。

元禄10年10月、1万8千石の初代新見藩主となった関備前守長治侯は、正徳5年9月13日神
社を今市から明月山に奉遷し、藩の守護神と崇め、領内23村の総鎮守とした。秋季大祭の御神幸大
名行列（新見市無形民俗文化財）と共に濁酒醸造の行事を確立した。特に例大祭には、藩主が参座し
て領民の安穏、五穀豊穰を祈念したといわれている。

御神幸の時は、藩主入国の行列儀式にのっとり、藩士を差し向け厳粛に神輿の前衛として奉仕させ
たのが御神幸武器行列の始まりで、現在も往時の仕来りを、忠実に継承している。

明治4年9月国家管理に移行され、「郷社船川八幡神社」となり、同40年1月27日神饌幣帛料
供進神社に指定された。

昭和13年4月15日、新見町大火災によって社殿などことごとく焼失した。

昭和21年1月10日、神祇院から認旨があり、「県社船川八幡神社」となったが、同年2月2日
神道指令により国家管理を離れ、宗教法人神社本庁の包括神社となった。

昭和22年4月、約10年を費やし社殿等全てを再建立した。

平成3年2月15日、「船川八幡宮」と改称した。

前の写真へ次

基本情報

神社コード 13061

神社名 船川八幡宮（フナカワハチマンガウ）

通称名 八幡宮

旧社格 県社

鎮座地 〒718-0011 新見市新見1781

電話番号 0867-72-2631

FAX番号 0867-72-2651

駐車場 有 20台

御祭神 譽田別尊

御神徳

主な祭典
10月15日：例大祭
4月15日：祈年祭
11月23日：新嘗祭

宮司宅電話 0867-72-2631

URL

e-mail

特記事項 武器行列

氏子地域 新見市（新見）

交通アクセス

J R新見駅から南へ約2 km

神事一覧

神輿行事	祭礼日時：10月15日13時	文化財指定：市指定	神事詳細
社日	祭礼日時：9月18日10時	文化財指定：無	神事詳細
獅子舞	祭礼日時：10月15日13時	文化財指定：無	神事詳細
湯立	祭礼日時：10月14日19時	文化財指定：無	神事詳細
神儀	祭礼日時：10月15日10時	文化財指定：無	神事詳細
夏祭	祭礼日時：6月30日17時	文化財指定：無	神事詳細

[検索画面に戻る](#)

